

# 三重短期大学ボランティアサークル活動報告書

## 1. サークル活動のきっかけ

「人の役に立ちたい」「自分が暮らす地域をもっと深く知りたい」「学生生活の楽しい思い出をたくさん作りたい」など、様々な理由から「ボランティアをしたい」という思いを持った学生でサークルは結成されました。津市立の短期大学ということもあり、津市への地域貢献を中心に据え、津市内を中心にボランティア活動を行ってきました。活動を続けてきたなかで、さらに、仲間と出会えた縁に感謝し、メンバー全員でひとつの取り組みをしたいという思いからサークル主催のボランティアイベントを企画しました（「みえたんプレイパーク」）。

## 2. 活動の目的

主に地域福祉と障害者福祉の発展を目的に、市内の季節ごとの行事や赤い羽根運動、障害者支援施設の夏祭りイベントなどに参加しています。たくさんの関係機関とボランティアを通して関わることで、自分たちが普段暮らしていたり通学している地域に対し、実情の理解と社会貢献に努めています。

## 3. グループのメンバー構成

66名（三重短期大学学生）

## 4. 現在の主な取り組み内容・これまでの取り組みの成果

### （1）主な取り組み内容

一身田清掃、城山れんげ祭、縁日祭、コムズ祭、たるみ作業所夏祭り、ふれあい体育祭、だいたて夜店、七夕笹流し、岩田川清掃、松阪サマースクール、言語聴覚士研修会、ペガサス夏祭り、れんげ祭、津祭り、聖母の家祭り、地域交流会、あすなろ学園祭、オレンジリボン啓発活動、赤い羽根運動

## (2) サークル主催のイベント「みえたんプレイパーク」

2014年8月8日(土)9日(日)の2日間、本学の大学ホールを利用し開催したボランティアサークル主催のイベントを開催しました。

「みえたんプレイパーク」とは、夏休み中で特別支援学校などに通学している知的障害、発達障害のある6歳から18歳の児童と、更にその兄弟や親御さんにも参加してもらえるように工夫しました。



夏休み期間中、障害のある子どもさんがいるご家庭では、親御さんが仕事や家事に専念する時間帯をつくるのが難しくなります。障害のある子どもさんを一時的に預かり、親御さんが買い物に行ったり病院に行ったりすることができる時間帯をつくる、いわゆるレスパイト機能が必要とされていることがわかりました。ボランティアサークルとして障害者福祉の現場に関わる中で気づき自分たちで取り組んだ次第です。

預かる子どもさんにはゲーム、昼食などを通じて学生とともに楽しい時間を過ごす時間を提供し、親御さんどうしのつながりをつくって頂く時間を提供することなどを意図して展開しました。

障害がある、ないに関わらず、スプーンリレーや的あて、ボーリング、爆弾ゲームといったゲームで楽しい時間を共に過ごすことができる環境を作り、参加する子供たちに楽しさを感じてもらうことを目的として行いました。

今回の開催に至っては三重県自閉症協会、津市障害者相談支援センターなどの関係機関の方々、本学事務局の方々に多大なご協力を頂き運営することがで

きました。この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。

今後も夏休みや冬休みなどの長期休暇中を中心に「みえたんプレイパーク」を展開していきたいと考えています。

## 5. 地域との連携の具体的な状況

社会福祉協議会、障害者支援施設などから様々なボランティア情報の提供をして頂き、一緒に活動をしています。



## 6. 課題・今後の方向性

### (1) メンバーのボランティアの参加率

60名以上のメンバーで構成されていますが、実際にボランティアへの参加は多くて2分の1程度になっています。参加するメンバーも固定化される傾向があります。メンバーがボランティアに積極的に参加しやすいボランティア情報の選択や運営方法の見直しを行っていく必要があると考えています。

### (2) サークル主催のボランティアイベントの増加

様々な機関やボランティア団体から得たボランティア情報をメンバーに提供し、個人の都合に合わせて参加してもらうのが今までのやり方でした。同じような考えを持った仲間が集まり、ひとつの事を作り上げることができるというメリットがサークルにあると考えます。今までのやり方を続けながら、2年という短大生活で「サークルの思い出」として残るよう、小さなイベントから企画、運営を行っていければいいと考えています。